

各務原市まちづくり活動助成金 令和3年度交付事業 取材レポート集



各務原市 市長公室 まちづくり推進課
〒504-8555 各務原市那加桜町 1-69 TEL:058-383-1997
E-mail:machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

※掲載してある内容は、取材や団体からのヒアリングなどをもとに作成しました。

令和3年度交付事業

※公開報告会での発表団体は、1年目団体（NO. 1～5）です。

スタート助成1年目（NO. 1～3）				
No	事業名	分野	団体名	ページ
1	アンケートによる住民の意向調査事業	まちづくりの推進	耀く大野町まちづくり委員会	2
2	男女共同参画に根付いた住みやすい町づくり事業	男女共同参画社会の形成の促進	Tri-Angle	3
3	子育て・親力アップセミナー事業	子どもの健全育成	スコーレ各務原	4
まちづくり助成1年目（NO. 4・5）				
4	夏祭りプロジェクト事業	まちづくりの推進	雄飛地区まちづくり委員会	5
5	貞奴をキーワードにしたきっかけづくり事業	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	貞奴フォーラム実行委員会	6
スタート助成2年目（NO. 6・7）				
6	世代間交流ワークショップ事業	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	リョクエンナーレ実行委員会	7
7	災害時に備えた炊き出し訓練事業	災害救援活動	鶯沼南町自主防災組織	8

No.1	団体名	耀く大野町まちづくり委員会		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> アンケートによる住民の意向調査事業			
事業概要	大野町住民(約360世帯)に対して、よりよいまちづくりのための意識・意向調査を実施する。そのアンケート結果を踏まえ、次年度に取り組むべき事業を企画立案する。 また、住民が調査報告書を閲覧することにより、地域課題解決の意識が高まり、よいまちづくりのきっかけ作りを行う。			
事業費総額(予算)	293,530 円	助成金交付決定額	100,000 円	
主な経費内容	印刷用紙、プリンターインク、アンケート印刷、返送用封筒、報告書印刷、アンケート返送郵送料、アンケートデータ入力、プロジェクター、ホワイトボード			
<p>●実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ワークショップを開催して、アンケート内容を討議 ■アンケートについて事前説明会を開催 ■大野町の全住民向け意識・意向調査のアンケートを実施 ■回収率を上げるため、大野町内各種団体による手配布・手回収を実施 ■アンケートから住民の抱える課題や意向を分析し報告書を作成 <p>4月15日 キックオフミーティング 参加者2名+アドバイザー 4月24日 自治会委員会に諮問 5月9日 自治会委員会及び各種団体向け説明会 6月5日 第1回ワークショップ 参加者13名+アドバイザー 7月4日 第2回ワークショップ 参加者18名+アドバイザー含関係者4名 7月24日 アンケート事務局案提示 参加者21名+アドバイザー含関係者4名 8月1日 第3回ワークショップ 参加者14名+アドバイザー 8月21日 第4回ワークショップ 参加者11名 9月4日 アンケート入稿前確認 9月11日 アンケート配布・回収方法説明 自治会班長30名、会員10名 10月2日 アンケート回収・整理 11月7日 アンケート結果 ドラフト版の説明</p> <p>-以下、11月時点で団体から報告されている今後の予定-</p> <ul style="list-style-type: none"> ■アンケート調査報告書を印刷し、大野町全戸配布予定。 ■アンケートの調査内容から次年度以降に向けた事業を企画・立案予定。 <p>11~12月 アンケート集計・冊子入稿データ作成 1月15日 アンケート集計結果を元にしたワークショップ 2月 冊子印刷・各世帯への配布 3月 自治会への結果報告</p>				
団体の 活動目的・目標	<p>住民の安全・安心・地域社会の課題の解決に取り組む活動(事業)を持続的に支援し、以下の事業に取り組みます。</p> <p>1. 自主防災に関する事業のサポート 2. 大野町認可地縁団体登録と土地の利活用に関する事業のサポート 3. 行事案内(情報誌)発行やホームページの運用 4. 大野町の地域振興・地域課題の解決に関する事業のサポート 5. その他、よいまちづくりに必要な事業のサポート</p>			



No.2	団体名	Tri-Angle	
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 男女共同参画に根付いた住みやすい町づくり事業		
事業概要	男女共同参画の視点から、身近な社会問題を考え、セミナーや勉強会を通じて市民および企業に向けて発信することにより、生きやすい社会を構築する。		
事業費総額(予算)	105,350 円	助成金交付決定額	64,000 円
事業費総額(確定)	100,102 円	助成金額(確定)	64,000 円
主な経費内容	講師謝礼、A4用紙、プリンターインク、開催案内印刷費、封筒、切手代、ラベルシール、養生テープ、消毒液、会場使用料、動画撮影委託料、USBメモリ、体温計		

●実施内容

■現役世代に向けて役に立つ知識と実践セミナー実施を企画した。

当初予定 8月29日(日) 那加福祉センター集会室

テーマ① 10:00～介護福祉士が語る老いのイロイロ(講師 介護福祉士 山下栄子)
参加申込人数 20名

テーマ② 13:30～こどもの未来を支える保障制度と家計のキホン(講師 FP 尾関大輔)
参加申込人数 10名

■開催直前にコロナ感染拡大による緊急事態宣言が発出、会場閉鎖の為、中止。

■代替措置として、予定同日(8月29日)団体事務所に於いて無観客で公演を録画。

・参加申込者向けのYouTubeによる限定配信(9月30日まで) 再生回数 59回

・少人数でのミニ視聴会 参加 4名

引き続き要望があれば、ミニ視聴会は実施していく予定。



4月28日～ チラシ・ホームページの作成

5月23日 打ち合わせ会議 → 中止

5月26日 講師打合わせ(テーマ1)

6月1日 セミナー開催チラシ配架・DM発送

6月3日 HP・FBでの発信

6月10日 講師打合わせ(テーマ2)

6月下旬 保育園・幼稚園・関連団体・店舗等への訪問・周知依頼

7月上旬 Chunichi Gifoot!新聞折込、ウェブ記事の広報依頼、企業訪問・周知依頼

7月31日 直前打合わせ、リハーサル

8月22日 中止連絡

8月29日 講演録画、YouTubeアップロード

9月1日～ 参加者へ配信URL連絡、視聴会の実施

10月3日 反省会

10月3日・25日 ミニ視聴会の実施 参加 7名



団体の
活動目的・目標

男女共同参画の視点から、身近に起こっている労働問題、社会問題などを考え、市民および企業に向けて情報を発信することによって、各務原市が誰にとっても生きやすい街になることを目指している。

No.3	団体名	スコール各務原																																									
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 子育て・親力アップセミナー事業																																										
事業概要	子育て中の家庭の養育者を対象に、これから育っていく子ども達の健全な育成を目指して、広く子育て講座やセミナーを開催して家庭のあり方を伝え、必要に応じてサポートしていく。																																										
事業費総額(予算)	152,780 円	助成金交付決定額	100,000 円																																								
事業費総額(確定)	161,266 円	助成金額(確定)	100,000 円																																								
主な経費内容	交通費、ポスター、チラシ、コピー代、オンライン配信用HDMIコード他、会場使用料、情報誌掲載広告料、リモート配信機材レンタル代、体温計、三脚																																										
<p>●実施内容</p> <p>■子育て・親力アップセミナー① テーマ:「家庭で育む!自己肯定感の育て方」 子どもの自己肯定感を育てるために家庭でできること、日頃の関わり方の話を講師から聞き、ワークシートに取り組んだ。 日時:7月1日(木)10:00~11:30 場所:那加福祉センター集会室 参加者:会場 28名、オンライン 18名</p> <p>■子育て・親力アップセミナー② テーマ:「自分で考え行動できる子に育てる!」 子どもが主体的に考え、自立していくために必要な家庭での関わりや子どもの可能性の伸ばし方を講師から聞き、ワークシートに取り組んだ。家族に渡すカードを準備し、それぞれの長所を書いてもらい持ち帰っていただいた。 日時:11月2日(火)10:00~11:30 場所:蘇原コミュニティセンター集会室 参加者:会場 13名、オンライン 9名</p> <p>■両日ともに質疑応答時間を設け、参加者の質問に対し講師から回答をもらった。 ■アンケートを配布し、日頃の悩みを記入してもらった。受講後の感想から具体的な意識の変化が確認できた。</p> <p><当初計画からの変更点> ・感染症対策用のアクリル板を購入予定であったが、借用できたため不要となった。 ・オンライン配信のため、ビデオカメラ固定用の三脚とオンライン配信機材を接続する配線の購入が必要になった。 ・会場確保の都合から、開催時期・会場が変更となった。設営と配信のリハーサルのため、会場使用日が増えた。</p> <table border="0" data-bbox="97 1478 1495 1850"> <tr> <td>4月</td> <td>子育て・親力アップセミナー①企画会議</td> <td>8月22日</td> <td>子育て・親力アップセミナー②企画会議</td> </tr> <tr> <td>5月10日</td> <td>オンライン配信の相談</td> <td>8月30日</td> <td>後援申請</td> </tr> <tr> <td>5月16日</td> <td>講師打合わせ</td> <td>9月19日</td> <td>講師打合わせ</td> </tr> <tr> <td>5月22日</td> <td>団体打ち合わせ</td> <td>9月28日</td> <td>チラシ配布</td> </tr> <tr> <td>5月下旬~6月上旬</td> <td>後援申請・チラシ配布、配信練習</td> <td>10月17日</td> <td>講師打合わせ</td> </tr> <tr> <td>6月下旬</td> <td>オンライン配信ソフトの使い方を相談</td> <td>10月24日</td> <td>会場リハーサル</td> </tr> <tr> <td>6月27日</td> <td>会場リハーサル</td> <td>11月1日</td> <td>オンライン配信リハーサル</td> </tr> <tr> <td>7月1日</td> <td>子育て・親力アップセミナー①実施</td> <td>11月2日</td> <td>子育て・親力アップセミナー②実施</td> </tr> <tr> <td>7月4日</td> <td>反省会</td> <td>11月19日</td> <td>反省会</td> </tr> <tr> <td>7月28日</td> <td>後援後の報告書提出</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				4月	子育て・親力アップセミナー①企画会議	8月22日	子育て・親力アップセミナー②企画会議	5月10日	オンライン配信の相談	8月30日	後援申請	5月16日	講師打合わせ	9月19日	講師打合わせ	5月22日	団体打ち合わせ	9月28日	チラシ配布	5月下旬~6月上旬	後援申請・チラシ配布、配信練習	10月17日	講師打合わせ	6月下旬	オンライン配信ソフトの使い方を相談	10月24日	会場リハーサル	6月27日	会場リハーサル	11月1日	オンライン配信リハーサル	7月1日	子育て・親力アップセミナー①実施	11月2日	子育て・親力アップセミナー②実施	7月4日	反省会	11月19日	反省会	7月28日	後援後の報告書提出		
4月	子育て・親力アップセミナー①企画会議	8月22日	子育て・親力アップセミナー②企画会議																																								
5月10日	オンライン配信の相談	8月30日	後援申請																																								
5月16日	講師打合わせ	9月19日	講師打合わせ																																								
5月22日	団体打ち合わせ	9月28日	チラシ配布																																								
5月下旬~6月上旬	後援申請・チラシ配布、配信練習	10月17日	講師打合わせ																																								
6月下旬	オンライン配信ソフトの使い方を相談	10月24日	会場リハーサル																																								
6月27日	会場リハーサル	11月1日	オンライン配信リハーサル																																								
7月1日	子育て・親力アップセミナー①実施	11月2日	子育て・親力アップセミナー②実施																																								
7月4日	反省会	11月19日	反省会																																								
7月28日	後援後の報告書提出																																										
団体の 活動目的・目標	家庭教育及び女性教育の振興をスコール(人間的資質を高めるための余暇の活用)を通して行うものである。 すなわち、家庭教育力、女性の自己教育力及びボランティア活動への意識の向上を図り、以て、共に生き、共に学び、共に幸せを希求する生涯学習の推進を目的とする。																																										



No.4	団体名	雄飛地区まちづくり委員会		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 夏祭りプロジェクト事業			
事業概要	雄飛地区内にある川崎山薬師寺で毎年8月の盆踊りに合わせ、境内の一部でバザーを出店し、雄飛地区内外から老若男女多数参加してもらい、地域活性化の相乗効果を図る			
事業費総額(予算)	718,709 円	助成金交付決定額	300,000 円	
事業費総額(確定)	340,437 円	助成金額(確定)	226,000 円	
主な経費内容	投光器、テント、ポータブルガス発電機、装飾用提灯・LEDライト、備品保管ケース、チラシ印刷代、参加者用光るブレスレット、事務消耗品、備品送料			
<p>●実施内容</p> <p>■「静かな夏祭り」の開催</p> <p>日時:8月21日(土)・22日(日)19:00~20:00</p> <p>場所:川崎山薬師寺境内</p> <p>内容:①地域内事業者へ協賛を募り、表参道・裏参道に提灯40丁を設置 ②小学6年生を対象にペーパーバッグ行燈7丁を作成してもらい、「将来の夢」「今はまっていること」を絵に描いて展示 ③バザーで予定していた光るおもちゃを参加の記念品として来場した子どもに提供</p> <p><申請時からの変更点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初は3世代ふれあい交流の方法としてバザーを計画していたが(早い時期から会場での飲食は取り止める意向であったが、開催直前までゲームの提供や飲食物の持ち帰りを検討)、感染症の拡大を受け接触機会を最小限に留め、おもちゃや輪投げなどの物品を共有するゲームの提供や飲食物の提供を取り止めた。 ・代替措置とし、ペーパーバッグ行燈や提灯による幻想的な雰囲気を作り、参加者の思い出に残る静かな祭りを実施。 ・時間を短縮し2日間に分けて開催。 <p>4月4日 コロナ禍での夏祭り開催について、自治会との意見交換会</p> <p>4月30日 スケジュール確認</p> <p>5月26日 バザーの内容確認</p> <p>5月29日 感染拡大による対応協議…規模縮小で提案作成</p> <p>6月24日 バザー内容を見直し、飲食は中止とし、子ども中心に「静かな夏祭り」検討</p> <p>7月14日 夏祭りの内容変更を共有</p> <p>7月中旬 チラシ手配、備品・ゲーム用消耗品の購入</p> <p>7月下旬 感染拡大により最終案の見直し検討、ゲーム提供を中止担当者決定</p> <p>8月10日 夏祭りの最終見直し案での実施を決定</p> <p>8月21日・22日 夏祭り開催</p> <p>9月26日 振り返り会議</p> <p>10月10日・31日 全体振り返り会議</p>				
団体の活動目的・目標	1. 安全・安心が保たれるまち 2. 三世代が生き活きと共存しているまち 3. 世代間・地域内コミュニケーションが充分にとれているまち 4. 個々の多様性を認め合い、支え合うまち			

No.5	団体名	貞奴フォーラム実行委員会		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 貞奴をキーワードにしたきっかけづくり事業			
事業概要	各務原市には、日本の女優第1号「川上貞奴」が建立した貞照寺そして国の重要文化財に指定されている「萬松園」があり、2021年7月には貞奴生誕150年を迎えます。この節目の年に合わせ、多様な世代が活動を始めるきっかけとなるよう、市内外の皆様に貞奴に対する関心を喚起する、成澤布美子「十二人の貞奴」朗読会を実施します。			
事業費総額(予算)	215,200 円	助成金交付決定額	136,000 円	
主な経費内容	講師謝礼、会場費、施設備品使用料、撮影・DVD制作委託費、チラシ作成費、整理券作成費、プリンターインク、事務消耗品			
<p>●実施内容</p> <p>■成澤布美子ひとり語り「十二人の貞奴」公演イベントを開催 日時:8月11日(水)14:00~15:30 場所:中央図書館4階多目的ホール 参加人数:74人・スタッフ13人 内容:貞奴を育てた芸者置屋の女将など、貞奴に関わる十二人が、貞奴について証言する内容のひとり語り。 成澤布美子さんの公演前に、貞奴の紹介動画を上映し、貞奴に関する知識を得た上で公演をご覧いただいた。</p> <p>■チラシ10,000枚を配布(表面:イベント告知、裏面:貞奴ものがたりを掲載)・・・貞奴の情報告知 配布先:市内中学校全生徒 4,595部、市内小学校各20部×17校 340部 市内公共施設ラック、記者クラブ、各務原商工会議所、サクラヒルズ川上別荘、貞照寺、二葉館 等</p> <p>■貞照寺での整理券の配布 7月18日貞奴の生誕150周年当日に、貞照寺で整理券を配布。縁の地へ足を運ぶきっかけとした。</p> <p>■公演記録DVDの作成、配布 「貞奴ものがたり(女優貞奴、萬松園、貞照寺)」、「十二人の貞奴」の公演を収めたDVDを20枚作成・配布。 このDVDを活用して、貞奴の関心を喚起するため、今後も継続して取り組む。 配布先:各務原市 教育委員会学校教育課、文化財課、埋蔵文化財調査センター、観光交流課、中山道鶉沼宿町屋館、中央図書館、岐阜県 観光企画課、ユネスコクラブ日本ライン、名古屋工業大学(麓先生)、貞照寺、二葉館、音貞実行委員会、サクラヒルズ川上別荘、川上新一郎氏(川上貞奴子孫)、創作オペラ「貞奴」プロジェクト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>4月7日 スケジュール・チラシ打合わせ 5月7日 スケジュール・チラシ打合わせ 6月7日 チラシ仕分け、小中学校等へ配布 7月7日 市関係施設へチラシ配布 7月18日 入場整理券の配布 8月11日 成澤布美子ひとり語り「十二人の貞奴」公演イベント実施 8月16日~30日 アンケート集計、DVD作成打合わせ 9月6日 アンケート結果報告打合わせ、DVD記録映像内容検討 10月7日・11月7日 貞照寺で勉強会実施</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> <p>-以下、11月時点予定- 12月~3月 勉強会実施予定。</p>				
団体の 活動目的・目標	川上貞奴に関する知識を集積し、市民等・市内外に向けて川上貞奴への関心を喚起することを目的とする。 (1)貞奴に関する研究の促進 (2)貞奴に関する研究成果の公表 (3)貞奴への関心を喚起する			

No.6	団体名	リョクエンナーレ実行委員会	
助成金種類 事業名	スタート助成<2年目> 世代間交流ワークショップ事業		
事業概要	子供からお年寄りまでの各世代が気軽に参加できるワークショップを子供たちの夏休み期間に開催し、その後作品展示を「ふらっと」及び緑苑小学校で開催する。		
事業費総額(予算)	155,290 円	助成金交付決定額	50,000 円
事業費総額(確定)	140,033 円	助成金額(確定)	46,000 円
主な経費内容	コピー代、事務用品、ワークショップ材料、会場使用料、ステンレス物干し竿		

●実施内容

子どもからお年寄りまでの各世代がワークショップを行い、ひとつの景色を作り上げることで交流・繋がりを感じられる事業を実施した。

(当初は、マーブリング・木目イラスト・草木染の体験を予定していたが、コロナ禍で満足に打ち合わせができない中、新しい内容のワークショップを準備することは困難が伴うことから、過去に指導経験がある「光る風鈴」のワークショップを実施した。)

■ワークショップ

7月12日(月)10-12時 緑苑小学校 3年生児童 22人

7月14日(水)10-12時 緑苑小学校 6年生児童 25人

7月22日(木・祝)10-12時/13-15時 緑苑地区中央集会場ふらっと 住民 64人
ペットボトルをリユースした「光る風鈴※」のキットを提供し、参加者に制作してもらった。

※光源のLEDを使い短冊が風で揺れることにより4色のLED端子がペットボトルの内側のアルミテープに触れることで通電して各々の色の光が灯るもの。

■広報

回覧板・学校のお知らせメールで周知した。

ケーブルテレビ・新聞の取材も受け、周知の後押しとなった。

■展示

緑苑地域内で制作された「光る風鈴」と緑苑小学校3年生・6年生の作品合わせて111個を屋内に展示した。

7月30日(金)～8月5日(木)10:00-20:00 緑苑地区中央集会場ふらっと 観覧者 280人

9月1日(水)～10月8日(金)緑苑小学校 作品展で展示(宝物展)

■スケジュール

4月14日 コロナ禍での事業実施の検討

5月 緊急事態宣言発出によりメール/SNSを通じ意見集約

6月18日 メニュー再検討、要領作成・関係機関との調整

6月29日 ワークショップ資材準備

7月14日 スタッフへの伝達講習

7月12・14・22日 ワークショップ開催

7月30日～8月5日 作品展示(ふらっと)

9月1日～10月8日 作品展示(緑苑小学校)

9月 感想及び反省の集約

10月6日 実施報告打合わせ



コロナ禍、諸々の地域内行事がことごとく中止・延期となり、交流が途絶え、笑顔が極端になくなっていった状況下で、感染対策を考慮しながら交流の火を絶やさずに展開できた。地域内で唯一の行事となり、大きな反響を呼んだ。

団体の
活動目的・目標

緑苑地域の高齢化が著しく進み、活気の減少、魅力低下が深刻な問題と思われるので、緑苑内に活気を呼び起こす取り組みを行う。

No.7	団体名	鵜沼南町自主防災組織		
助成金種類 事業名	スタート助成<2年目> 災害時に備えた炊き出し訓練事業			
事業概要	自主防災組織の活動として、地震に伴ってインフラが破壊された時にガスや電気に頼らない炊き出しが出来るような態勢を準備するため、薪を用いた炊き出しが出来るように幅広い住民を対象に訓練を行う。			
事業費総額(予算)	96,239 円	助成金交付決定額	32,000 円	
主な経費内容	炊き出し訓練練習時食材費、炊き出し訓練用消耗品費(紙皿、丼ほか)・食材費、バーベキュー用鉄板、鉄板加工委託料			

●実施内容

■炊き出し訓練の実施

日時: 12月12日(日)10:00~13:00

場所: 鵜沼南町会館

参加者: スタッフ・自治会員 28名、子ども会 13名、一般参加者 9名(計 50名)



鵜沼南町住民を対象とした炊き出し訓練を実施。

設備の確認、薪割りや火起こし、食材の準備などを分担して行った。

子どもに対し、マッチでの火つけ、包丁での柿剥き、おにぎり作りを経験させ、防災に対して関心を持つ機会を提供した。



■備品について

炊き出しに使用する鉄板について、

1年目事業で用意した鉄板には縁がなく、食材がこぼれていたことから、反省を活かし、元の鉄板に縁を付ける加工を委託した。

また、新たに購入する鉄板は、縁付きのものを選択した。

■その他

訓練実施前には防災対策課に内容を相談。

当日は防災対策課から提供を受けたアルファ米などの備蓄品を配布し、備蓄の重要性を住民に伝えた。



- 4月17日 炊き出し訓練実施打合わせ
- 8月22日 炊き出し訓練実施案 詳細検討
- 10月2日 炊き出し訓練実施案 最終検討
- 10月30日 詳細打合わせ
- 12月6日 最終打合わせ
- 12月12日 炊き出し訓練実施

-以下、12月時点予定-

1月下旬 振り返り会議



団体の 活動目的・目標	鵜沼南町に限らず、多くの地域の自治会では形式的に自主防災組織を備えているが、実態は1年交代の自治会長や班長によって構成されており、蓄積された経験に基づいた防災活動が出来るものとはなっていない。そこで、1年交代ではなく継続して活動できる組織を設立した。災害時に慌てず実際に活動できる組織を目指すとともに、日常的に防災意識の向上を図る。
----------------	--